

## インターハイを終えて

開新高校 二年 長濱弘晃

私は、今回インターハイに出場することができ、多くのことを学ぶことができました。

中学からバレーを始め、今回が初の全国出場でした。全国の舞台はやはり、独特の雰囲気があり、とても緊張したことを覚えています。試合では、開新らしさが出せたと思います。結果は決勝トーナメントで負けてしまいました。今後の開新バレー部にとっていい経験でした。

今回の開催地となった



▲開新高校バレー部の長濱さん(写真左)

東北地方では、多くの被災者の方々が、未だに避難所生活を送っている中で、私たちは普段通りに練習ができて毎日変わらない生活を送らせてもらっています。このように整った環境で練習できることに感謝し、それにあわせて、今まで私を育ててくれた両親、諸先生方や、私の生まれ故郷である津奈木町にとっても感謝し、被災地の復興を一日、一時間、一分、一秒でも早く出来るよう強く願っています。

私はバレーボールを通じて、多くのことを学び、チームワークの大切さを感じ、これから進んでいく人生に活かしていきたいと思います。まだまだ、試合はあるので、目の前にある春高予選を突破し、全国の地をも一度駆け抜けたと思います。この度の津奈木町を挙げたご声援、本当にありがとうございます。

## 「感謝の気持ちを太鼓の一打に込めて」全国大会を終えて

秀岳館高校雅太鼓部

山崎聖矢・森山晃太・開田早紀

私たち、秀岳館高校雅太鼓部は7月23日に八代を出発し、27日から29日にかけて岩手県盛岡市で

開催されることとなった、全国高等学校総合文化祭に熊本県代表として出場してきました。

全国大会に行く途中、こ

の大会の本来の開催予定地であった福島県にある避難所で復興支援コンサートを開催してもらいました。避難所の方々は、元気がなく疲れているような気がしましたが、私たちが演奏していく中で、少しずつ笑顔になっていったような気がしました。避難所の方々は、苦しい生活をしておられるのに、笑顔で手拍子をしてくださる方や、泣きながら『よかったよ』などの声をかけて頂き、逆に私たちが勇気づけられました。

これまでやってきた復興支援コンサートを通して、人間の助け合いの心や、温

かい心を再確認できました。この支援をいただいた皆様の、温かい心のこもったパワーを全国大会での演奏で披露してきました。

結果は、評価されることはありませんでしたが、物販売や、いつも応援で声をかけてくださる方々への感謝の気持ちを一打一打に込めて精一杯演奏できました。

全国大会で結果を残せませんでした。私たちが心を成長させてくれたと思います。ご支援、本当にありがとうございます。



▲全国大会で力の限りを尽くしました



▶秀岳館高校雅太鼓部の部員